

# 長崎高教組新聞

発行  
〒850-0013 長崎市中川2丁目2番5号  
長崎高教組会館  
長崎県高等学校教職員組合  
電話 (095)-827-5882  
FAX (095)-826-2976  
編集責任者 大場雅信  
購読料 一部10円  
組合員は組合費に含む  
メールアドレス  
naga-kks@fsinet.or.jp

## 安倍『教育再生』ストップ！憲法を守り、いかそう3・29全国学習決起集会

### 長崎の「龍の怒り」を 安倍政権にぶっつけよう！

長崎高教組は、「安倍『教育再生』ストップ！憲法を守り、いかそう3・29全国学習決起集会」の成功に向けて、「怒りの龍」の作成を通じて、安倍政権のねらいを支部・分会で学習会し、安倍政権の暴走に対する県内の教職員の怒りの声を集約し、憲法改悪・安倍『教育再生』阻止のとりくみを提起しています。私たちとりくもうと

「怒りの龍」とは、長崎の「龍踊り」は、中国の雨乞いに起源を持つ。日照りに悩む農民の祈りから始まった。伝説上の神獣である龍(うろこ)の81枚の鱗(うろこ)のうち、あごの下に1枚だけ逆さに生えたとされる鱗のことを「逆鱗」としている。「龍」は、元来人間に危害を与えることにはないが、喉元の「逆鱗」に触れられることを非常に嫌うため、これに触れた場合には激高し、触れた者を即座に殺すとされた。このため、「逆鱗」は触れてはならないものを表現する言葉となり、帝王の激怒を呼ぶような行為を指して、「逆鱗を嬰(ふ)れる」と比喻表現された。漢語で「嬰鱗(えいりん)」という。



3月29日  
東京・日比谷公園に  
長崎の「怒りの龍」が  
登場します

安倍政権の「改悪」という名の「壊憲」、「教育再生」という名の「教育統制」、「積極的平和主義」という名の「戦争できる国づくり」など国民の願ひに反する動きは、まさしく主権者である国民の「逆鱗」に襲れる行為です。今こそ、国民の怒りを「怒りの龍」に託して、安倍政権の打倒に迫って行きましょう。

安倍政権の「改悪」という名の「壊憲」、「教育再生」という名の「教育統制」、「積極的平和主義」という名の「戦争できる国づくり」など国民の願ひに反する動きは、まさしく主権者である国民の「逆鱗」に襲れる行為です。今こそ、国民の怒りを「怒りの龍」に託して、安倍政権の打倒に迫って行きましょう。

した。実に定員の79%です。自民党の得票率は43%でした。投票した人の100人の43人しか自民党に投票してないのに、自民党は79%の議席を獲得したのです。しかも、全体の投票率が59.32%でした。従って、別な言い方をすると、有権者の4分の1(25%)の支持で、79%の小選挙区議員を獲得しているわけですから、ちなみに、衆議院比例代表区(定員180人)では、自民党は27.6%の得票で、31%の57議席に止まっています。これが小選挙区制度のマジックなのです。この小選挙区マジック、及び民主党政権の期待はずれに乗っかって、安倍政権は成り立っています。

「龍のうろこ」に  
想いをぶっつけよう！

具体的などりくみとして次のように提起しています。

- 1、「怒りのうろこ」作成のとりくみ
- ①「3・29情宣チラシ」及び学習資料を用い、意見交換をしよう
- ②「怒りのうろこ」に分会、個人で書き込もう
- ③「怒りのうろこ」を本部へ送付しよう
- 2、「かがやけ憲法署名」のとりくみ
- ①職場内で署名を完成させよう
- ②街頭署名活動に参加しよう

さっそく届いた「うろこ」

2月24日には4つの分会から15枚の「龍のうろこ」が届きました。それにはこんなことが書かれています。

「日本国憲法が輝く国こそ美しい国」

「憲法改正」できるほど、自民党は偉いのか？国民の声を聞け！」

「せめて憲法だけは守り抜いて、子どもたちが平和に暮らせる日本を残してほしい」

「戦争へ巻き込まれる集団的自衛権の容認に断固反対する」

「戦争反対平和が一番」「戦争は時代錯誤若者を殺してはいけません」「戦争は人殺しです。たぐさんの犠牲の上にある平和をこれからも守り抜くのが国だと思えます」

「言論の自由を圧殺するな！」

「愛国心教育とはいかに。国を愛するように教育するのではなく、愛されるような国を作るべきではないか」

「子どもたちを安心させる社会を！」

「『国破山河壊』になりそうな日本。慎重審議を！」

「原発再稼働反対！エネルギー政策を見直せ！福島の状態をもう忘れたのか！」

「消費税増税分以上の賃上げを本当に実現せよ。日本の不況は、賃金が上がらないことには解決できない。官僚はともかく、一公務員はみんな庶民なので、マスコミをはじめ『公務員いじめ』をやめ

「言論の自由を圧殺するな！」

「愛国心教育とはいかに。国を愛するように教育するのではなく、愛されるような国を作るべきではないか」

「子どもたちを安心させる社会を！」

「『国破山河壊』になりそうな日本。慎重審議を！」

「原発再稼働反対！エネルギー政策を見直せ！福島の状態をもう忘れたのか！」

「消費税増税分以上の賃上げを本当に実現せよ。日本の不況は、賃金が上がらないことには解決できない。官僚はともかく、一公務員はみんな庶民なので、マスコミをはじめ『公務員いじめ』をやめ

ろ。マスコミの方が給料が高いはずだ」

「打倒！安倍内閣 真の平和国家をめざそう！」

「怒 怒 怒 怒 怒 ひどす。」

「教職員の怒りを込めた「うろこ」がどんどん届くことを願っています。」



本部に届けられた「うろこ」の数々

「3・29集会」

全教要請数(22人)を大きく上回る参加で集会を成功させよう！

現時点で、「安倍『教育再生』ストップ！憲法を守り、いかそう3・29全国学習決起集会」に参加を希望している組合員は23人となっています。

「3・29全国学習決起集会」の位置づけは、憲法改悪・安倍『教育再生』阻止のために全教の仲間を集約し示すとともに、この私たちのとりくみの意義を多くの教職員に感じてもらうことで全教・長崎高教組の運動に共感してもらおうことにもあります。私たちがとりくんでいる運動にはつながりがあります。一つのとりに触れることで、未組の教職員が一人でも高教組への共感へと繋がっていくことも大いに期待しています。

この点で、もともと多くの人々が「集会」に参加してくれたら素晴らしいと考えているのです。

ただし、本部の財政にも限りがありますので、カンパのとりくみをお願いしています。ぜひ、広げてください。また、チケット手配の期限もあります。新たに「3・29全国学習決起集会」に参加したい人は、2月中旬に支部役員を通して本部に連絡してください。



# 第30回日高教大会、第31回全教大会 全教・日高教の「一体化」を 圧倒的多数で決定！

2月14日、日高教大会（全教会館・東京）、2月15日、16日全教大会（星陵会館・東京）が開催されました。

参加者は、本部から大場委員長、馬場書記長（日高教大会のみ）、支部からは、鍛冶諫早支部書記長が参加しました。

日高教大会での第一の議題は、全教との一体化を決定することでした。

討論では、「日高教という名称はなくなるが、発展的に全教と一体化することであり前向きに捉えたい。これからのとりくみが大切だ」、「将来的に、幼、小、中、高、大の学を見通した教育大産別の結集をめざして進むこととなる歴史的な事業

だ」、「日高教がこれまで取り組んできた専門部の活動が埋没することなく引き継がれていくことが重要」など、一体化を基に全教の運動をさらに発展させていく決意をこめた発言があった一方で、「財政面では一体化も仕方がないと思うが、『日高教』の役割は今も重要であり、必ずしも一体化しなくても教育産別の運動は発展させることはできる。一体化問題と教職員組合の運動の発展は別問題ととらえるべきだ」などの反対意見も一部ありました。

日高教の決定を受け、15日からの全教大会では、冒頭で、「一体化」が議論されました。日高

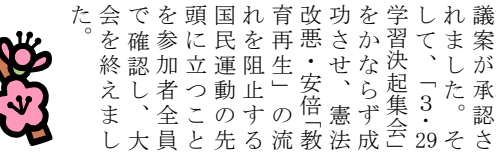
教大会と同様、「教育産別強化のための『一体化』であり、これを機に全教を飛躍させよう」など、義務制からも「一体化」に賛成する意見が多く出

て、圧倒的多数で承認されました。

午後からは、全教の14年度運動方針等の議案が議論されました。憲法改悪や安倍「教育再生」に反対するとりくみ、組織拡大のとりくみ、教職員

の権利を守るとりくみなどの課題について、参加者の多くが発言を求め、発言時間を7分から5分に制限せざるを得ないほど活発な討論となりました。長崎高教組は大場委員長が「3・29全国学習決起集会で発表する『怒りの竜の作成』のとりくみを未組員にも大きく広げ、組織拡大に

なげたい」と発言しました。



上：日高教定期大会

下：全教定期大会



ともすべての議案が承認されました。そして、「3・29学習決起集会」をかならず成功させ、憲法改悪・安倍「教育再生」の流れを阻止する国民運動の先頭に立つことを参加者全員で確認し、大会を終えま

## 全国青年教職員学習交流集会に参加して

□ 加高校分会 藤田 綾子

14年2月1日、2日にかけて山梨で行われた全国青年部学習交流集会「TANE」に参加しました。朝日新聞のシリーズ記事「先生は今」の記者である氏岡真弓氏の講演があるのを楽しみに参加してきました。氏のシリーズ記事を切り抜き、教師を目指す教え子にコピーを渡してどう思うか面談がてら話をしたこともあります。3年生ともなると、生活環境や責任感の持ち方ががらりと変わるの

の子も学校が好き勉強が好き↓自分の教育的実践は子どもに通じている↓やりがい！。でもそれは自己満足だったりします。変わったり、好感触の反応をしてくれている子どもが一人でもいれば、「良かったな、自分の実践は正しかった。成功した」と錯覚してしまうのも教師の性かなとも思えます。全体の偏差値は変わらなくても、一人の生徒が「先生の授業はいい」と言ってくれたらみんながそう思っているのかなやりがいは勝手な自己満足ではと、冷静になることも教師に欠かせない資質だと思えます。また、過酷さについても考えました。学級崩壊やクレーム処理、乱れた生活態度

## 県立学校総括安全衛生委員会 各学校の安全衛生委員会の年3回実施を確実に

今年度の県立学校総括安全衛生委員会が2月12日に開催されました。この会議は、県立学校の教職員の安全・衛生にかかわるとりくみを議論するもので、校長会の代表や健康管理医の代表、県教委の担当部局などとともに、高教組・県教組の代表も委員として参加し

は、1月末までに委員会を2回以上開催している学校が17校で、昨年同時期の40校から大きく減少していることが問題になりました。委員会の会長を務める教育次長も3回しなければならぬことが浸透しているかどうか問題。真摯に反省すべき」と述べ、来年度は年度途中も含めて、校長会等で3回開催の趣旨を徹底することが確認されました。高教組は、各学校の安全衛生委員会が、長時間勤務の是正など実効ある議論の場となる必要があると意見を述べました。

委員会は、毎年、各学校の安全衛生委員会のとりくみ状況が報告されますが、今年度の報告で

研をはじめ、教研等で継続して取り組まれた「大規模普通校の過酷な実態」での論議を思い出しながら、TANEに参加しました。教育の仕組みが変わらなければ自分が変わる。保護者・生徒に通じないなら自分のやり方を変える。仕事が減らないなら、全体を変えていける役割を率先して請け負う。そしてもちろんつらそうなき若い先生にさりげなく声かけができる。つらさや過酷さを訴えると同時に、そうした動きができるようになることが私の理想です。

委員会で、毎年、各学校の安全衛生委員会のとりくみ状況が報告されますが、今年度の報告で

委員会で最後は、「職員会議など会議の中で校務負担軽減などの意見交換をする」を新たに加えた来年度の重点的な取組を確認しました。

